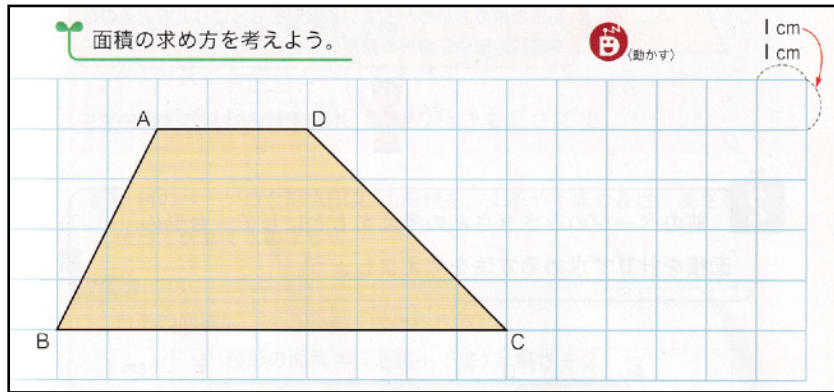


活ママ「おしえてくださる？」 の

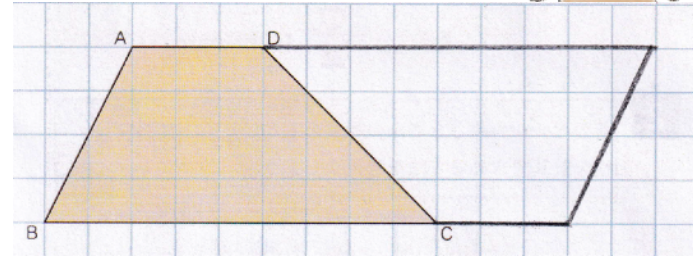
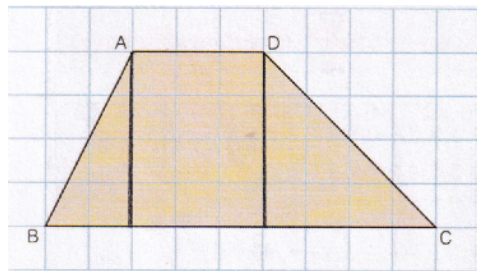
—算数編—



続「分けて計算してあとでたす



活ママ「先生、うちの子（小五）が、基本の基本を発表したけどスルーされちゃったって、しよげて帰ってきたんですけど。こんなふうに長方形と二つの直角三角形に『分けて計算してあとでたした』んです。でも、塾長のように『基本に忠実。すばらしい』とは言ってもらえなかったって」



塾長「ごめんなさい。それはそれは気の毒な思いをさせてしまいました。学校の先生は『分けて計算してあとでたす』を基本だとは思っていないですからねえ。

台形の面積ですね。教科書では右半分が不自然に空けてありますよね。これは、同じ台形をもう一つひっくり返して並べることに誘いかけてるんです。

これを倍積変形と言います。その方が（上庭+下底）が理解させやすいんですよ」

活ママ「いきなり倍積変形と言われても、公式を知っていないと発想できないかも」

塾長「そうですね、活ママ。もちろん倍積変形の考えはちゃんと経験させますけど、基本と照らして応用を学ぶ方

が深い理解に結びつきます。ですから、やっぱりミカちゃんは基本に忠実ですばらしいですよ。」

活ママ「そうですね。私もミカをほめて元気づけます。ありがとうございます。」

塾長「それにね。この場面では、『分けて計算してあとでたす』がスルーされましたが、来年度、（松江市は）教科書がかわるので、指導も変わります。」

活ママ「指導が変わる？」

塾長「はい。啓林館は三角形の面積を先に、東京書籍は平行四辺形の面積を先に学習します。理解への道筋が違います。三角形に分けて……」

活ママ「へっ？教科書によって違うんですか？それにうちの子、その時は六年生になつてますよ！」

(6 ページに続く)

第三回いきいき寄席

二〇二四年三月十日
安来市大塚交流センター

昨日きかせていただいたお
はなしは、どれもとつても面
白く、どうして落語？と疑問
に思っていた夫や母も、落語
の魅力や落語が与えてくれる
影響力について感動し、すご
く納得したようでした！
また応援団が増え、子ども
もますますやる気になってお
ります。

塾生のお母さんより



撮影／佐野明美・書／活塾亭あーと